

平成30年度使用教科書の採択結果及び採択理由一覧

大阪教育大学附属天王寺小学校

平成30年 4月1日現在

科目	発行者の略称	採 択 理 由
国 語	学図	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな言語活動を通して、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用が図ることができるように編集されている。 ・三段階の指導過程により、作品や文章を通して、論理的に思考する力を育てることができる教科書となっている。
書 写	学図	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する事項が単元名になっているとともに、学習材の精選がなされている。 ・大きさや位置を視覚的に理解しやすい原寸大の手本が提示されている。 ・穏健・中庸で美しい手本文字により、文字に対する感覚と正しい認識を育てることができる。
社 会	教出	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間読み取りで使用する資料が、意外性があり、かつ情景が想像しやすいものが多い。関連した詳細な資料が掲載されているのも知識を深めるのに有効である。 ・「やってみよう」や「みさきさんのノート」など、子ども自身が自ら調べたり、まとめるためのガイドとなるように工夫されている。
地 図	帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の検索がしやすく、子ども達になじみがあるものである。 ・農業や漁業、気候など、必要な分布も数多く掲載されている。 ・地図帳の大きさも、毎日の使用に適している。
算 数	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・算数科の学習の流れにそって指導しやすいように構成されている。 ・板書例やデジタルコンテンツが充実しており、経験の有無に関わらず指導できる。 ・巻末に算数資料集をつけるなど算数科の学習のスパイラルが意識されている。
理 科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・学年始めのころの単元では、ノートのまとめ方の例や、単元末に子どものノート例があるなど、学ぶ子どもにとってわかりやすく、基準を示しやすくするように工夫されている。 ・問題解決への意識が高い。例えば、話し合いの予想において、子どもがどのように考えているかや話し合いの進み方を順を追える形で示されている。導入の写真では、子どもの疑問において問いを持ちやすいよう、迫力などのビジュアルや教材の工夫がされている。 ・発展、読み物といった枠の構成が練られており、指導上のおさえるべき点や子どもの興味・関心によってさらに深く学ぶことが可能である。
生 活	日文	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の活動内容を絵や写真を多く使うことによって、わかりやすく示すことで意欲を持たせる工夫がされている。 ・単元の始めのページがいろいろなイラストの表現を使って工夫されている。 ・教科書に最後に、図鑑がついていて使いやすい。
音 楽	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・図や絵を用いて共通事項に関わる内容が示されていて、子どもたちにとってわかりやすい。共通事項と学習内容との関連が詳しく示されているので、表現の工夫を考える際の手がかりになると考えられる。 ・各単元ごとの目標が明確に示されている。
図画工作	日文	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の写真がはっきりと大きく示されていて分かりやすい。 ・授業のねらいが四観点とともに示され、評価にも活用しやすい。 ・材料や用具の使い方と表現例が巻末にまとめて例示されていて使いやすい。
家 庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・実習製作の写真や図が大きく、わかりやすい。 ・資料として活用しながら学習を進めるのに適している。
保 健	学研	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本が整理されており、「考えてみよう」という課題解決学習が基礎・基本を元に考えやすくなっている。また、各単元ごとに活用が設定され、その後各章に学習のまとめとして学びを生かすための工夫がなされている。
道 徳	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が深く考えられるように、教材を通して考える視点や今後自分自身が学んだ道徳的価値にどのように向き合っていくかが示されている。また、「話し合ってみよう、演じて考える、読んで考える、書いて考える」活動を促しており、対話的に学ぶことができるように工夫されている。